

Title	朝鮮半島情勢と北東アジアの安全保障実施結果：アンケート集計結果の概要(2012年度聖学院大学総合研究所主催日韓学術セミナー)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.2, 2013.1 : 38-40
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4334
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

2012年度 聖学院大学総合研究所主催
日韓学術セミナー

朝鮮半島情勢と北東アジアの安全保障
実施結果—アンケート集計結果の概要

日 時 2012年9月29日(土)14:00~16:30
場 所 聖学院大学ヴェリタス館教授会室

2012年は北東アジアのほとんどの国で、選挙や首脳陣交代によって新しいリーダーシップが誕生する可能性がある特異な年である。北朝鮮でも、金正日総書記の急逝によって3代世襲の金正恩氏が新しい最高指導者となった。今のところ北朝鮮をめぐる国際関係に大きな変化は見られないが、日本の安全保障にとって金正恩政権への対処は重要な課題である。北東アジアをめぐる問題にかかわる専門家が、朝鮮半島の動向と日本の安全保障をどう構築するのかについてどう構築するのかについて討論する。

【プログラム】

開会挨拶 標 宣男 聖学院大学副学長

講演① 「北朝鮮の挑発行動の分析と今後の展望」
康 仁徳 聖学院大学総合研究所特命教授
元韓国統一省長官

講演② 「金正恩政権と南北朝鮮関係」
道下 徳成 政策研究大学院大学(GRIPS)
准教授
同安全保障・国際問題プログラムディレクター
国際関係学博士

報 告 「世界各地への北朝鮮の武器貿易・軍事協力」
宮本 悟 聖学院大学総合研究所准教授
コーディネーター
小田川 興 聖学院大学総合研究所特命教授

【結果の概要】

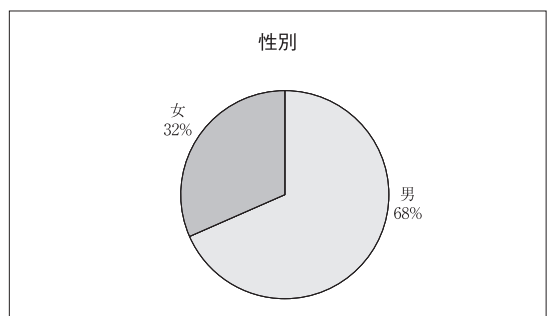
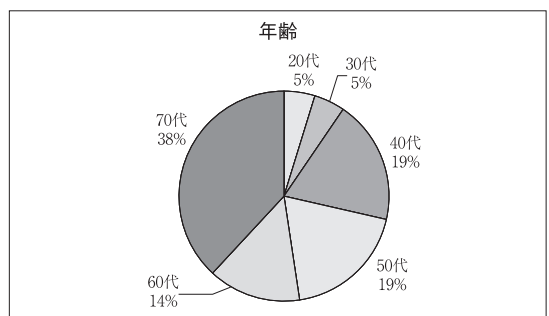
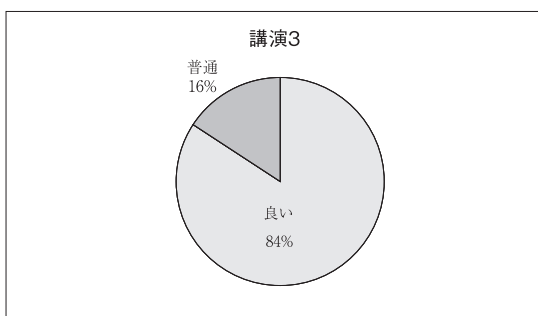
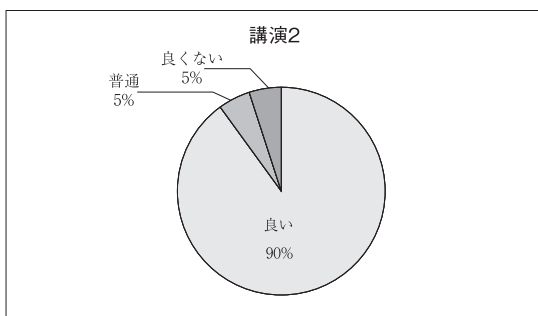
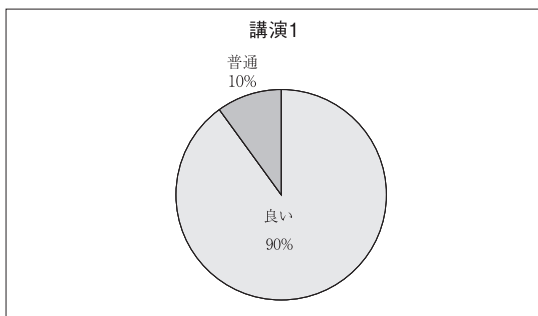
- ・参加者は62名。内、アンケート回答者は21名。
- ・講演1、2について、「良い」という意見がそれぞれ90%、報告について「良い」が84%と高い評価を得た。



政策研究大学院大学（GRIPS）道下徳成准教授

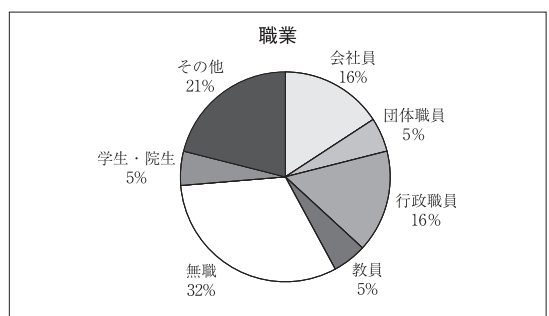


・自由意見として、「興味深い話だった」「それぞれの時間が短すぎた」など。



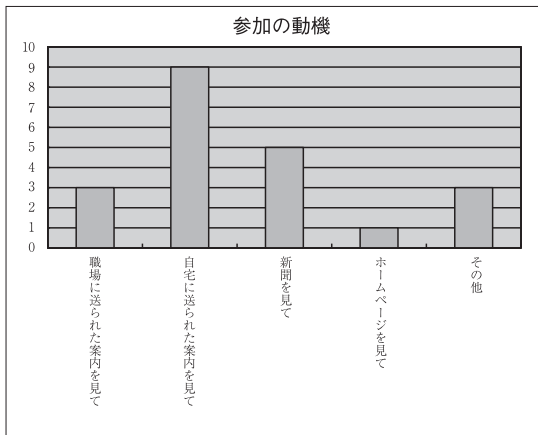
* 回答者の年齢として、「70代」38%と最も多く、ついで「40代」「50代」共に19%となった。

性別は男性68%、女性32%。



* 職業は「会社員」「行政職員」が共に16%となった。

「その他」の内容は「団体役員」など。



*参加の動機として、「自宅に送られた案内を見て」が最も多く、次に「新聞を見て」となった。「その他」の内容は、「知り合いの紹介」など。

自由意見

- ・本当に興味深い内容でした。市内に住んでいるのにこのセミナーを知りませんでした。(もっと早く参加したかったです。) 激変する今、参加できてよかったです。次回も参加したいです。
- ・シンポジウム、セミナーと一貫して朝鮮半島問題に取り組む姿勢は評価する。ぜひ維持を！今回は北東アジア関連部分についての課題が不十分だったので、もっと多角的に論じてほしい(ロシア、中国、米国、日本など)。
- ・近くの大学でこのような講座があることを知りませんでした。これを機会に学ばせていただきます。この1ヶ月韓国、中国との関係が急激に問題化しました。冷静に適切に対応するには正確な情報が欠かせません。大学からの最新情報の発信を期待します。今日は本当にありがとう



ございました。

- ・お三方、それぞれ時間が足りない気がした。盛りだくさんで興味深い分、我が身には消化不良気味。とても残念な思いがしたが、良い時間を過ごさせていただきました。康先生がお変わりなくてうれしかったです。
- ・新聞で見たので、少しわたしの考えている事と違いがあった。中国、朝鮮などの関係（日本）とがうまく付き合えるかどうかを知りたかった。
- ・中身が濃い話だが、短すぎに感じた。それぞれの先生方の話をゆっくり聞きたいと思った。
- ・セミナーはとても良い試みだと思います。
- ・最後、質問に答えた形式での内容、大変参考になった。
- ・来年の3月の講演を楽しみにしています。
- ・今日はお三方のお話がとても参考になりました。
- ・ありがとうございました。